

サルファ剤

要指示医薬品

指定医薬品

使用基準

ダイメトン®「明治」

Daimeton® MEIJI

【本質の説明又は製造方法】

スルファモノメトキシンは、我が国だけでなく広く海外でも動物の抗
菌・抗寄生虫剤として使用されているサルファ剤です。ダイメトン「明
治」は、スルファモノメトキシ水和物の100%製剤です。

【成分及び分量】

品名	ダイメトン「明治」
有効成分	日本薬局方スルファモノメトキシ水和物
含量	500g包装品： 日本薬局方スルファモノメトキシ水和物：500g 1kg分包品： 日本薬局方スルファモノメトキシ水和物：1kg

【効能又は効果】

牛：コクシジウム病、肺炎、細菌性下痢症

馬：肺炎

豚：細菌性下痢症、トキソプラズマ病、肺炎、萎縮性鼻炎（AR）

鶏：伝染性コリーザ、コクシジウム病、ロイコチゾーン病

犬：細菌性下痢症

【用法及び用量】

1日体重1kg当たりスルファモノメトキシとして下記の量を均一に
飼料に混じて経口投与する。

牛（搾乳牛を除く。）：コクシジウム病 30～60mg
肺炎、細菌性下痢症 20～40mg

馬：20～50mg

豚：20～60mg（ただし、萎縮性鼻炎にあっては、
25mgを1週間投与し、これを間歇的に行う。）

犬：50～100mg

飼料1t当たりスルファモノメトキシとして下記の量を均一に混じて
経口投与する。

豚：300～2,000g（ただし、萎縮性鼻炎にあっては、
500gを1週間投与し、これを間歇的に行う。）鶏（産卵鶏を除く。）：伝染性コリーザ 1,000g
コクシジウム病 500～1,000g
ロイコチゾーン病 10～50g

【使用上の注意】

（基本的事項）

1 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤の使用に当たっては、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、週余にわたる連続投与は行わないこと。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：

本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等
に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を
含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品です
ので、牛（搾乳牛を除く。）・馬・豚・鶏（産卵鶏を除く。）に
ついて上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して
下さい。

牛（搾乳牛を除く。）：食用に供するためにと殺する前7日間

馬：食用に供するためにと殺する前7日間

豚：食用に供するためにと殺する前7日間

鶏（産卵鶏を除く。）：食用に供するためにと殺する前7日間

- ・本剤をロイコチゾーン病及び萎縮性鼻炎（AR）に使用する場
合は使用法の細部にわたって獣医師の指導を受けること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・小児の手の届かない適切な場所に保管すること。
- ・直射日光を避け、湿気の少ない涼しい場所に保存すること。
- ・使用済み容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地
方公共団体条例等に従い処分すること。

2 使用に際して気をつけること

（使用者に対する注意）

- ・誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
 - ・飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込ま
ないよう注意すること。
- （対象動物に関する注意）
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受ける
こと。

【薬理学的情報等】

（薬効薬理）

スルファモノメトキシンは、ジヒドロプロテロイン酸合成酵素を競合的に
阻害し、葉酸合成を阻害する。スルファモノメトキシンの作用は静菌的
である。

【包装】

ダイメトン「明治」 500g
5kg（1kg×5分包）

【製品情報お問い合わせ先】

明治アニマルヘルス株式会社 営業部

〒860-8568

熊本市北区大窪一丁目6番1号

TEL：096(345)6505

FAX：096(345)7879

<https://www.vet.meiji.com/>

【製造販売元】

meiji 明治アニマルヘルス株式会社

東京都中央区京橋2-4-16

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑わ
れる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われ
る感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害
の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製
品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検
査所（<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。